

活動スナップ『2019年3月～10月』



2019年3月
3期目任期終了。前期会派メンバー



2019年5月
4期目スタート！改革21新メンバー



2019年3月
にこにこクリーンさざ



2019年5月
県庁舎見学ツアー(松山町自治会)



2019年6月
基地抗議活動に参加



2019年8月
真珠養殖視察（小佐々町）



2019年9月
敬老会のお祝い(江迎町)



2019年10月
秋季例大祭(世知原町)

《長崎県議会議員 山田ともこ事務所》 〒857-0805 佐世保市光月町8-20
TEL: 37-0058 FAX: 37-0078
MAIL: office@yamadatomoko.com

長崎県議会議員 4期目・会派：改革21

山田ともこだより

No.35



対話を力に、ぬくもりのある県政！
より良い長崎県を目指して。

おかげさまで4期目スタート

毎日寒気加わる時節となりました今日この頃、皆様方にはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

私、山田朋子は、皆様の力強いご支援をいただき、本年4月の県議会議員選挙で4期目の当選を果たすことができました。心から感謝申し上げます。本年は、4年ぶり二度目となる長崎県監査委員に就任いたしました。就任後、県内各地の関係機関への監査、本庁全部局の監査などを実施しております。

常任委員会は、農水経済委員会に所属になり、本県の基幹産業である第一次産業の振興、合わせて、本県の最大の課題である人口減少問題に対し、若者の県内就職支援、リターン、リターン者に選ばれる長崎県作り向け、良質の雇用の場の創出や、子育て支援や不妊治療の支援等様々な政策を提案しながら頑張って参ります。所属会派の、改革21は、各地区から選出いただきました同士8名、その内私以外に新たに2名の女性議員が当選をし、女性議員が3名になり、男女共同参画が一気に進んだ会派で県民の福祉の向上・県政浮揚に向け全力で活動をさせていただいております。今後とも、変わらぬご支援、ご鞭撻の程をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

長崎県議会議員 山田ともこ



地元中部地区公民館にて、子どもの貧困対策や地域の高齢者の皆様のコミュニティの場所づくりとして、平成28年度より毎月開催中。

山田ともこの略歴

《おいたち》

- 昭和47年4月6日生まれ（現在47歳）
- 佐世保市立小佐世保小学校、佐世保市立旭中学校
私立聖和女子学院高校、佐賀短期大学食物栄養学科
- 平成16年 山田正彦衆議院議員秘書
- 平成19年 長崎県議会議員初当選
(任期中に乳がんを患うも手術・治療を経て職務復帰)
- 平成31年 長崎県議会議員4期目当選

《現在》

- 長崎県議会議員
(長崎県監査委員)
(農水経済委員会)
◎保護司、防災士
◎社会福祉法人親愛会評議員
◎学校法人聖和女子学院評議員等
- 自宅は佐世保市須佐町

ホームページの
QRコード





陶磁器の振興を力強く支援を!

●陶磁器産業活性化推進事業について伺いたい。この事業は、三川内焼、波佐見焼の展示会の開催や後継者育成等に対する支援を行っているが、平成30年が、当初で3、430万円の予算があったが、補正減額が行われ、決算では、2、803万円になつていて。

今年の当初予算が257万円、これを見ると、昨年だけでも634万円ぐらゐの減額がずっと続いている。三川内焼、波佐見焼、県内の陶磁器産業の活性化は非常に重要であると認識している。とりあえずが、この調子でいくと、まだどんどん、今年度も減額になるのではないかと危惧している。

【答弁】企業振興課長
陶磁器の活性化につきましては、財源としまして、国、県と地元の組合が共同して事業を行つていている。三川内焼、波佐見焼の関係で、当初は、バイヤーとのつながりを構築したいということで商談会を継続していたが、一定バイヤーとの構築ができたということで、地元の負担もあるので、事業は一度やめることになった。

●展示会の開催や後継者育成等の支援となるが、減額しなくとも、展示会の助成する基準や、規模はあるかもしれないが、もっと小規模でも回数を増やすとか、後継者育成のためにもっとメニューを充実させるとか出来ないのか。

【答弁】企業振興課長
陶磁器の活性化につきましては、財源としまして、

こどもたちと未来のために!
**山田ともこは4期も
しっかり頑張ります!**
地域の声を集めて
県政へ届けています。



企業誘致に向けて力強く支援を!

【答弁】畜産課長

●「県・市一体となつた企業誘致活動を開いていただきたい。」と佐世保市からの要望がある。年間でどのくらいのケース、県下の市町と一緒に実施している。

【答弁】企業振興課企画監

産業振興財団としては、年間約400件00件回つていて。その400件の中で、一定期間集中して2週間程度、集中訪問という形で、佐世保市、諫早市、大村市等の各市町に声かけをし、市町の職員と財団の職員とで企業誘致の活動を行つて、

●市町との集中訪問の状況について伺いたい。

【答弁】企業振興課企画監

市町との集中企業訪問を昨年7月23日から8月10日まで、関東地域、福島、群馬、埼玉、東京、神奈川にて532社訪問した。参加した市は、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市。

●財団への市町からの職員派遣状況について伺いたい。

【答弁】企業振興課企画監

市町との集中企業訪問を昨年7月23日から8月10日まで、関東地域、福島、群馬、埼玉、東京、神奈川にて532社訪問した。参加した市は、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市。

●財団への市町からの職員派遣状況について伺いたい。

【答弁】企業振興課企画監

市町との集中企業訪問を昨年7月23日から8月10日まで、関東地域、福島、群馬、埼玉、東京、神奈川にて532社訪問した。参加した市は、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市。

●財団への市町からの職員派遣状況について伺いたい。

【答弁】企業振興課長

展示会への出展は、消費者などに直接私どもの取り組みを訴える、非常に重要な機会だと思っていて。2月に東京ドームで、国内最大級のテーブルウエアフェスティバルがある。本年も継続出店予定である。あと、三川内焼については、値段も波佐見焼きに比べ、比較的高いこともあり、富裕層のところに、もしくは若い人に売りたいということじで、例えば渋谷のヒカリエと商業施設で、そこでの取り組みをここ数年、続けている。

【答弁】企業振興課長

● 展示会には、大小様々な規模がある、それに幅広に支援をいたしました。今、三川内焼の白磁がすごくきれいで、ワイングラスだったり、日本酒を飲む器だったりで、結構人気が出てきていますので、しっかりと若い方に向けてアピールをいたさない。業界的に非常に厳しい状況にある中、私は、毎年、減額するのではなく、もっと幅広に地元の方々の話を聞いて、小さなものでも支援することによって広がるものも出てくると思いますので、ぜひ強く支援をお願いしたい。

生徒の安全を守る!

●長崎県農業大学校の学生寮の耐震化について伺いたい。

【答弁】農政課長

令和4年に移転をすることだと話題で、年内最大級のテーブルウエアフェスティバルがある。本年も継続出店予定である。あと、三川内焼については、値段も波佐見焼きに比べ、比較的高いこともあり、富裕層のところに、もしくは若い人に売りたい

【答弁】農業大学校の学生寮の耐震化について伺いたい。

【答弁】農政課長

そこまでの間の安全性の確保については、代替施設がない。できるだけ早く新しい寮の完成を図ります。

●長崎県の農業大学校を選んでくれた学生に何かがあつたら取り返しがつかない。耐震化の補強工事とか考えがないのか。

【答弁】農政課長

現在の寮は移転後使わないことから、大規模な経費をつぎ込むというのは、財政状況から厳しい。

長崎和牛のブランドを守る!

●和牛の受精卵と精液が不正に中国に持ち出された事件を受け、他県においては、遺伝資源の流通管理の適正化に関する実施要綱を作成または、鳥取県は遺伝子の保護条例などで検討中とのこと、長崎県の和牛を守るべく条例化が必要ではないか

●財団への派遣も専門の人員も十分に配置出来ていない市町もあるので、こちらから積極的なアプローチをかけていただきたい。

●財団への派遣も専門の人員も十分に配置出来ていない市町もあるので、こちらから積極的なアプローチをかけていただきたい。

●和牛の受精卵と精液が不正に中國に持ち出された事件を受け、他県においては、遺伝資源の流通管理の適正化に関する実施要綱を作成または、鳥取県は遺伝子の保護条例などで検討中とのこと、長崎県の和牛を守るべく条例化が必要ではないか

長崎県農林技術開発センター

【答弁】畜産課長

県においては、平成26年から県内の県有種雄牛の流通管理を適切にする目的でバーコード付の人工授精用の精液証明書と zwaruのを作成、改良センターがメインセンターになり、そこから各地域のサブセンターに精液を一日流して、各人工授精師とか農家の方に配付する。リアルタイムに状況がわかるようなシステムを今運用している。条例化だが、今、県内棚町から1名、計6名となつている。